

2014年度 (平成26年度) 年次報告書

(2014年4月1日~2015年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA Annual Report 2014-2015



Message

ご挨拶



2016年に楽団創立70周年を迎える東京交響楽団は、「お客様の喜びの実現を追求する」ことを運営の基本的姿勢として、これまで活動してまいりました。今後もこの姿勢を継続し、さらなる飛躍をめざし、音楽監督ジョナサン・ノットの指揮のもと、真摯に努力を続けて参ります。

これからも活動を充実させ、お客様に喜んで頂ける楽団にしていくためにも一人でも多くの方のご協力とご寄付を心よりお願いする次第です。創立70周年記念事業として、2016年、東欧を含むヨーロッパ・コンサートツアーを計画しております。東京交響楽団は、日本のトップオーケストラに育ちましたが、世界で勝負できるレベルにはまだまだ課題がございます。ヨーロッパツアーを通して、その課題に立ち向かっていき、世界レベルを目指してまいります。是非、ご期待ください。私も理事長として、H.I.S. 共々全力で東京交響楽団をサポートして参りますので、皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

公益財団法人 東京交響楽団

理事長 澤 田 秀 雄

2014年度活動概要

10年間音楽監督を務め、楽団の演奏基盤を築いたユベール・スターンに替わり、2014年4月からドイツ・バンベルク交響楽団 首席指揮者のジョナサン・ノットを第3代音楽監督として迎え、東京交響楽団は新たな時代に入りました。

定期演奏会、川崎定期演奏会、東京オペラシティシリーズ他全6シリーズが、前年度に引き続き文化庁の「トップレベルの舞台芸術創造事業」として文化芸術振興費補助金の助成を受けました。また、新たに始まった「戦略的芸術文化創造推進事業」では、当楽団が提案した「オーケストラのマーケティング・リサーチと芸術団体のための戦略プラン構築事業」が採択され、文化庁の委託事業として、アンケート調査やマーケティング研究を行い報告書を作成しました。

定期演奏会

新音楽監督就任記念披露公演となった4月のサントリーホール定期演奏会では、武満徹：セレモニアルと、マーラーの最後の交響曲第9番を演奏し、現代作品とクラシック作品を組み合わせるオリジナリティ溢れるプログラミングでその方向性を示しました。ノットは定期演奏会に年4回登場し、特にワーグナー：ジークフリート牧歌とブルックナー：交響曲第3番「ワーグナー」を組み合わせた12月定期は、「『第3交響曲・初校』がかくも美しく鳴ったことを素直に喜びたい」と高く評価され、今後の演奏をさらに期待する声が多く聞かれました。

客演では、首席客演指揮者のウルバンスキ、フィンランド出身のロウヴァリ、東京オペラシティシリーズでウルバンスキの代役として日本デビューしたロレンツォ・ヴィオッティらが若き才能を披露しました。

特別演奏会

復活した〈現代日本音楽のタベシリーズ〉では昨年引き続き、作曲家 伊福部昭の生誕100年記念コンサートとして、「SF交響ファンタジー第3番」「二十絃箏と管弦楽のための交響的エグログ」など当楽団により初演された作品の数々を大植英次の指揮により演奏し、作品のエネルギーが溢れる演奏が話題となりました。

ミュージア川崎シンフォニーホールとの共催公演「名曲全集」では、当楽団指揮者に加え、川瀬賢太郎、垣内悠希、準・メルクル、シュテファン・アントン・レック等それぞれ個性溢れる演奏で聴衆を魅了しました。

青少年育成プログラム

「こども定期演奏会」(年4回)は、指揮者が毎回変わり、進行役としてアナウンサーの坪井直樹氏が加わる新しい形で13年目をスタートしました。明るい雰囲気の中、こども奏者やレセプション体験、楽器体験などの参加企画も好評でした。

そして「0歳からのオーケストラ」をミュージア川崎シンフォニーホールと東京芸術劇場で各2公演を行った他、川崎市内の小学校の音楽鑑賞教室や、病院、施設などの巡回公演も積極的に行いました。

また文化庁「文化芸術による子供の育成事業」として、三重県南伊勢町や大阪府豊中市などで公演を行い、子供たちと交流を深めました。3月には東京都主催の各種ワークショップを伴った「子どもたちと芸術家の出あう街2015」を企画運営し、映像付ホルスト：「惑星」を演奏して多くの聴衆を集めました。

依頼公演

準フランチャイズ契約を結ぶ新潟市では、りゅうとびあ新潟での定期演奏会(年6回)を行い、楽団員による小学校訪問での音楽授業やホールでの「わくわくキッズコンサート」を行いました。また、パートナーシップ協定を結んだ八王子市では、ファミリーコンサートや合唱団の活動が始まりました。

新国立劇場では、新芸術監督 飯寿泰次郎氏の指揮によるワーグナー「さまよえるオランダ人」に加え、喜歌劇「こうもり」、2011年3月の震災の影響で中止になった「マノン・レスコー」のオペラ3作品とバレエ1作品「ラ・バヤデール」の上演でピットでの演奏を担当しました。

テレビ朝日の長寿番組「題名のない音楽会」が放送50周年を迎え、番組開始から出演を続ける当楽団がその記念コンサートで演奏し、2回にわたって放映されました。

Fiscal Report

財産・運営状況について

正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

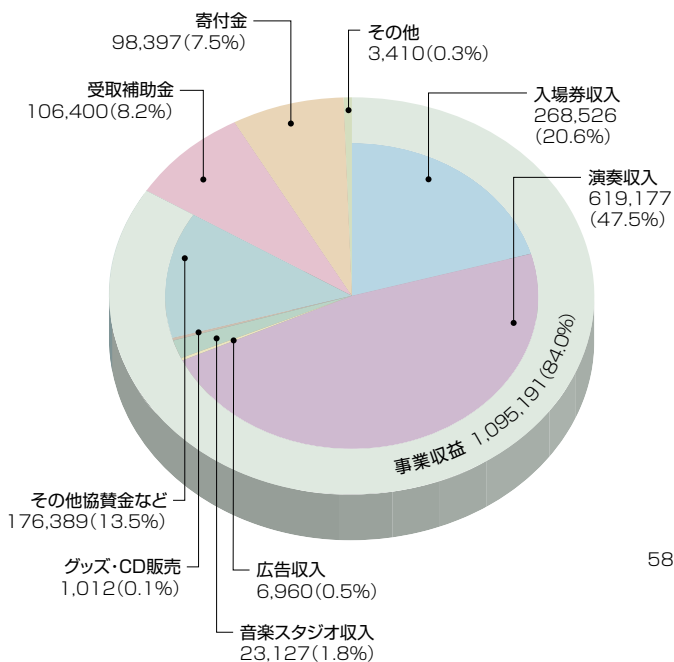
科目	2014年度	2013年度	2012年度
経常収益計	1,303,398	1,290,630	1,163,201
内・事業収益	1,095,191	1,106,368	961,039
内・受取補助金	106,400	103,000	105,060
内・寄附金(賛助・維持会費)	—	25,125	30,600
寄附金	98,397	52,540	62,142
経常費用計	1,349,709	1,273,575	1,165,352
当期経常増減額	△46,311	17,054	△2,151

2014年度は新音楽監督就任に伴い、主催公演の内容に今まで以上の力を注いだ結果として支出が広がりました。その内容に応じ入場券代金を改定したため、前年度よりも増収となりました。寄付についてはサポート会員制度の新制度への移行に伴い、すべてのサポート会費が寄付金として取り扱えることとなりました。そして、新音楽体制へのご期待として、前年度の寄附金(サポート会費、一般合算)と比較して、より多くの

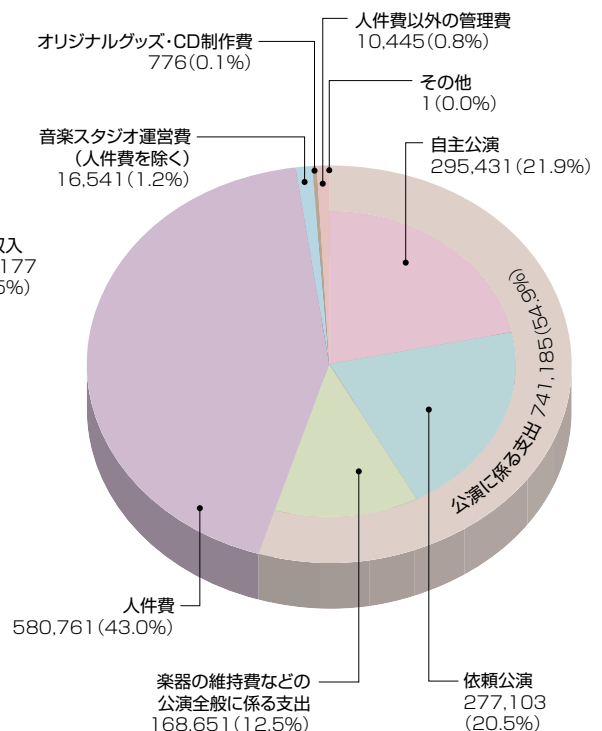
ご支援をいただきました。

しかしながら、依頼公演数が前年度よりも落ち込み、それに比例して演奏収入も落ち込むこととなりました。結果として、収入は前年度に比較して拡大されてはおりますが、支出がそれ以上に大きくなったために赤字へと転じました。2015年度は演奏収入と入場券収入のさらなる拡大を課題とし、創立70周年に向けて活動しております。

収入(2014年度) **1,303,398** (単位:千円)



支出(2014年度) **1,349,709** (単位:千円)



Across the 2014/15 Season

演奏記録(全165公演)

●自主公演(48回)

定期演奏会(第619回～第628回)	10回
川崎定期演奏会(第45回～第49回)	5回
東京オペラシティシリーズ(第79回～第84回)	6回
名曲全集(第96回～第105回)	10回
こども定期演奏会(第49回～第52回)	4回
特別演奏会	13回

●依頼公演(116回)

新潟定期演奏会(第83回～第88回)	6回
オペラ・バレエ公演	27回
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	25回
その他	58回

●その他の事業(1回)

放送録画	1回
------	----

- 川崎定期演奏会第45回(音楽監督就任記念) 2014年4月
- テレビ朝日「題名のない音楽会」50周年記念コンサート 2014年5月
- 現代日本音楽のタベシリーズ第17回
(伊福部昭生誕100周年記念コンサート) 2014年5月
- ミュゼ川崎シンフォニーホール開館10周年記念コンサート
- 東日本大震災被災者支援チャリティー Concert for Smiles 2014年12月
- Muzaニューイヤーコンサート 2015年1月
- 秋山和慶指揮者生活50周年記念演奏会 2015年2月
- 新国立劇場「マノン・レスコー」 2015年3月
- 第628回定期演奏会ワーグナー「パルジファル」抜粋 2015年3月
- 八王子ユース弦楽オーケストラと共演 指揮=川瀬賢太郎 2015年3月
- 「子どもたちと芸術家の出あう街2015」ホルスト:「惑星」映像付コンサート 2015年3月





3



9



4



10



11



8

(撮影:寺司正彦 / 提供:新国立劇場)

Members

サポート会員 (2015年8月6日現在)

■法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス 株式会社フェイス

ダイヤモンド会員

株式会社伊藤総合事務所 株式会社パソナ
株式会社日本財託 株式会社ティー・ワイ・リミテッド

ゴールド会員

株式会社青山メインランド 中外製薬株式会社
イーサポートリンク株式会社 日本産業パートナーズ株式会社
株式会社FJネクスト 株式会社日本ポステム
川崎信用金庫 株式会社野毛印刷社
環境ステーション株式会社 ハウス食品グループ本社株式会社
きわむ元気塾 ヒノキ新薬株式会社
サントリーホールディングス株式会社 政鬼運輸株式会社
株式会社サンリオ 医療法人社団わかさ会 南八街病院
新菱冷熱工業株式会社 株式会社明和
社会医療法人財団石心会 ヤマザキ・ナビスコ株式会社
玉川学園・玉川大学 横浜自動車部品株式会社
玉の肌石鹸株式会社 株式会社ライブ・マーケティング

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト 株式会社トーションパートナーズ
公益財団法人青梅佐藤財団 本田技研工業株式会社
城南信用金庫 マプチモーター株式会社
有限会社青史堂印刷 村田司法書士事務所
株式会社TFDコーポレーション リッチモンドアセットマネジメント株式会社

ブロンズ会員

NPO法人かわさき市民アカデミー 株式会社日本ヴァイオリン
酒蔵駒八 別館 ブイ・エス・エルジャパン株式会社
株式会社シグマコミュニケーションズ 富士ゼロックス神奈川株式会社
株式会社シネブリッジ 遊園電子工房
流山なかよし保育園 極上金かすてら 横浜文明堂
ニッシンエレクトロ株式会社

賛助企業

アサヒビール株式会社 東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
テレビ埼玉ミュージック 山崎製パン株式会社

■個人会員

サークル50

磯村 文靖 原 義勝
伊藤 晴美 横川 竟
伊藤 美樹 横川 端
鴛海 量明 依田 巽
澤田 秀雄 渡邊 秀男
清水 尚彦 匿名2名

サークル25

山口 学

サークル10

朝倉 徳道 高津 麻子
阿部 孝夫 高島 琢己
荒木 陽子 田口 之博
安藤美智子 竹田 忍
猪田 隆文 立岩 孝之
井之上隆太 戸川 二郎
梅沢 麻衣 土肥 智弘
遠藤 秀和 成田三千代
岡 邦子 成瀬 倉祥
岡野 一哉 西谷 律子
奥村 博康 長谷川 功
鬼澤 修 アーネスト・M・比嘉
梶井龍太郎 堀 新太郎
片山 泰輔 堀川 将史
金子 元 皆川 雅俊
後藤 直人 村本 京子
小林 光 村本 信幸
小林 文博 森田富士男
古丸 健 八鍬 昭
小山 治彦 山下 芳彦
近藤和喜夫 山元 浩司
斉藤 脩司 吉川 麗月
佐久間啓一 吉田 治喜
佐々木 真 吉村美恵子
塩沢 誠司 米岡 修一
清水 幹雄 米崎 雅子
鈴木 成高 匿名7名

Tokyo Symphony Orchestra

公益財団法人東京交響楽団 Orchestra

- 音楽監督.....ジョナサン・ノット
- 桂冠指揮者.....秋山和慶／ユベール・スダーン
- 正指揮者.....飯森範親
- 首席客演指揮者.....クシシュトフ・ウルバンスキ
- 名誉客演指揮者.....大友直人
- 永久名誉指揮者...アルヴィド・ヤンソンス◆／上田仁◆／遠山信二◆
- ソロ・コンサートマスター.....大谷康子
- 第1コンサートマスター.....グレブ・ニキティン
- コンサートマスター.....水谷 晃
- アシスタント・コンサートマスター.....田尻 順／廣岡克隆

- | | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| 会 長 | 横川 端 | 評議員長 | 金山 茂人 |
| 理事 長 | 澤田 秀雄 | 評 議 員 | 梅沢 一彦 |
| 副理事 長 | 平澤 創 | | 鷺海 量明 |
| | 依田 巽 | | 片山 泰輔 |
| 専務理事 | 大野 順二 | | 西村 朗 |
| 理 事 | 阿部 武彦 | | 星 久人 |
| | 池辺晋一郎 | | 松下 芳彦 |
| | 伊藤 美樹 | | 山下 寛 |
| | 大橋 博 | 特別顧問 | 横川 延浩 |
| | 庄司 薫 | | 飯島 紀彦 |
| | 永山 治 | | 福田 長満 |
| | 南部 靖之 | 最高顧問 | 山田 茂人 |
| | 西室 泰三 | 顧問税理士 | 金山 文靖 |
| | 福川 伸次 | | 磯村 田村慎太郎 |
| | 渡邊 秀男 | | 田村 松本 傳 |
| 常任監事 | 田村慎太郎 | | 松本 剛弘 |
| 監 事 | 寺西 基之 | 顧問弁護士 | 内田 剛弘 |

<p>1st Violins</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木村正貴 ○堀内幸子 大和田ルース 小川敦子 加藤幸子 小関 郁 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 吉川万理 	<p>Violas</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎青木篤子 ◎武生直子 ◎西村眞紀 ○山廣みほ 小西応興 鈴木まり奈 永井聖乃 松崎里絵 大角 彩* <p>Cellos</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎伊藤文嗣 ◎西谷牧人 ○川井真由美 ○黄原亮司 ○謝名元 民 大宮理人 樋口泰世 <p>Double Basses</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎笠原勝二 ◎加藤信吾 ○久松ちず 北村一平 安田修平 渡辺哲郎 	<p>Flutes</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎相澤政宏 ◎甲藤さち 濱崎麻里子 <p>Flute & Piccolo</p> <ul style="list-style-type: none"> 高野成之 <p>Oboes</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎荒 絵理子 最上峰行 池田 肇 ◎荒木奏美* <p>Oboe & English horn</p> <ul style="list-style-type: none"> 篠崎 隆 <p>Clarinets</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎エマニュエル・ヌヴー ◎吉野亜希菜 小林利彰 近藤千花子 	<p>Bassoons</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎福井 蔵 ◎福士マリ子 坂井由佳 <p>Horns</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎上間善之 ◎大野雄太 ◎ジョナサン・ハミル 大和田浩明 阪本正彦 曾根敦子 鈴木 優* <p>Trumpets</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎佐藤友紀 ◎澤田真人 大隅雅人 野沢岳史 <p>Trombones</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大馬直人 ◎荻野 昇 ◎鳥塚心輔 藤井良太 	<p>Tuba</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎渡辺 功 <p>Timpani & Percussions</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎奥田昌史 ◎新澤義美 武山芳史 綱川淳美 天野佳和 <p>Harp</p> <ul style="list-style-type: none"> 景山梨乃 <p>Librarians</p> <ul style="list-style-type: none"> ★武田英昭 前田健一郎 <p>Stage Managers</p> <ul style="list-style-type: none"> ★今村和弘 山本 聡 <p>楽団員</p> <ul style="list-style-type: none"> 井伊 準◆ 鷹栖光昭◆ 	<p>楽団長</p> <p>大野順二</p> <p>編成局長&パーソネル・マネージャー</p> <p>藤原 真</p> <p>事務室長</p> <p>辻 敏</p> <p>事務局</p> <p>池田瀬津子 △豊山 悟</p> <p>△尾木貴雄 長久保宏太郎</p> <p>□梶川純子 美濃部敦</p> <p>菊澤布美 山口翔梧*</p> <p>佐藤雄己 山田道子</p> <p>高瀬 緑 △渡辺美江</p> <p>クラシックスペース★100</p> <p>安藤史子 甲田幹雄</p> <p>西脇秀治 吉田典正</p> <p>嘱託</p> <p>岩本良彦 水島顕彦</p> <p>堤 鳴木</p> <p>□本部長</p> <p>△部長</p> <p>*準事務局員</p>
---	--	--	---	---	--

◎首席奏者 ○フォアシュペーラー ★チーフ *研究員 ◆故人

～皆様からのご支援お待ち申し上げております～

東京交響楽団の活動は個人・法人の皆様から寄せられるあたたかいご寄付とともに成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東京交響楽団」として創立。1951年に「東京交響楽団」に改称し、現在に至る。歴代の指揮者陣には、往年の名指揮者アルヴィド・ヤンソンス、近衛秀麿や上田仁らが名を連ね、外来音楽家が珍しかった1950年代から世界的な演奏家と数多く共演する。指揮者ではマゼール、ヨッフム、フルネ、カザルス、独奏者ではバックハウス、オISTRAフ、ケンプ、ロストロポーヴィチらを迎え、聴衆を魅了してきた。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、主な作品には、1940年代から50年代にかけてのショスタコヴィチ「交響曲第7番～第12番」の日本初演、武満徹「弦楽のためのレクイエム」(1957年、委嘱初演)、シェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(1994年、邦人初演、演奏会形式)、ラッヘンマンのオペラ「マッチ売りの少女」(2000年、日本初演、演奏会形式)、黛敏郎のオペラ「古事記」(2001年、日本初演、演奏会形式)、アダムズ「エル・ニーニョ」(2003年、日本初演)とオペラ「フラウリングツリー＊花咲く木」(2008年、日本初演、セミ・ステージ形式)、ヘンツェのオペラ「ルプバ」(2007年、日本初演、演奏会形式)、ヤナーチェク・オペラシリーズがある。

これらの活動により、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、モバイル音楽賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞特別賞、ミュージックベンクラブ音楽賞等、日本の主要な音楽賞の殆どを受賞する。

また、新国立劇場では1997年の開館時から、レギュラーオーケストラのひとつとしてオペラ・バレエ公演を担当している。

2004年より、川崎市のフランチャイズオーケストラとして定期演奏会や特別演奏会、音楽鑑賞教室や市内施設への巡回公演などのコミュニティ活動を積極的に行う。これらの活動が高く評価され、2013年に川崎市文化賞を受賞。新潟市では1999年より準フランチャイズ契約のもと、定期演奏会や「わくわくキッズコンサート」、学校や病院での室内楽演奏を行うほか、東京都八王子市では2013年度より(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団と提携し、コンサートやアウトリーチ活動を展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においても53都市71公演を行い、音楽的・社会的に国際交流の実を挙げた。

さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、中でも「0歳からのオーケストラ」(2007年～)は“次世代への音楽文化の伝承に多大に寄与している”として、2010年にひまわり褒章を受賞。また、サントリーホールとの共催による「こども定期演奏会」(2001年～)は、日本で初めての“子どものための定期演奏会”という、その斬新な発想が多方面から注目されている。

録音においては、TOKYO SYMPHONYレーベル「シューベルト交響曲集(指揮=ユベール・スダーン)」をはじめ、N&Fレーベル「ブルックナー: 交響曲第7番、第8番(指揮=ユベール・スダーン)」、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等から多数のCDをリリース。映画やテレビでの演奏も数多く、中でもテレビ朝日「題名のない音楽会」は、1964年の番組開始時よりレギュラー出演している。

また、東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。この募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地の復興に役立てられている。

2011年4月、内閣府から公益財団法人の認定を受け、2012年度より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業(年間支援)」では、初年度4オーケストラに選定される。同年9月には、理事長に(株)エイチ・アイ・エス会長の澤田秀雄を迎え、横川端会長、依田巽、平澤創副理事長での体制に移行した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁している。

2016年に創立70周年を迎える。

公式HP <http://tokyosymphony.jp>

公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <http://tokyosymphony.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階